

町長	副町長	課長	主幹	担当	合議

別記様式第4号

会議等結果報告書					
会議区分	<del>会議</del> ・ <del>打合せ</del> ・ <del>協議</del>			文書番号	上富子育 第476号
				決裁期日	令和5年7月28日
名称	令和5年度 第1回子ども・子育て会議				
日時	令和5年7月24日(月) 10:00~11:30				
場所	保健福祉総合センターかみん 2階研修室				
出席者	子ども・子育て会議委員15名(別紙名簿参照) 役場 佐藤副町長(町長代理)、保健福祉課 深山課長、星野課長、武山主幹 末永主幹、白井主査、菊地主任、門馬主事				
内容	<p>・開会(進行:深山課長)</p> <p>1 委嘱状交付 佐藤副町長より、豊田委員、塩俵委員、村上委員へ委嘱状を交付。</p> <p>2 町長あいさつ(佐藤副町長代読) 本日は、令和5年度子ども・子育て会議の開催にあたり、児童福祉の推進に関わる皆様のご出席を賜り、感謝を申し上げます。 本会議は、子どもや子育て世帯の皆様が安心・安全な環境のもとに出産や子育てをして頂くため、認定こども園の利用定員や子育て支援事について、ご審議を頂いているところであります。 また、来年度(令和6年度)は第3期子ども子育て支援事業計画となる「子ども計画」策定の年であり、本年度については「こども計画」と「子どもの生活実態」のアンケート調査を行うことから、設問内容や集計結果などをご審議頂きますので、忌憚のない活発なご意見を頂きますよう、どうぞ宜しくお願い致します。 本町の子育ての状況ではありますが、我が町におきましても少子高齢化は着実に進んでおり、本年度においても昨年度同様の約60名のお子様の誕生が見込まれております。(R4:58人、R5:65人予定) 子育て環境は、支援が必要な子どもや保護者の増加、転入が多いことから親御さん・親戚・親しい友人などが町内にいないことも要因とした孤立化、家族関係の希薄化など多種多様に及んでいる現状であります。 子育て支援は、祖父母世帯、ご近所の助け合いはもとより、学校、職域、その他様々な分野が保護者に寄り添い、不安や負担を和らげるなどの支援・協力であり、保護者が成長することによって、次代を担う子どもたちの健やかな健康と成長を育成していくものと思っているところでございます。 町と致しましては、子育て相談に対する支援体制の強化、療育環境の充実を (次ページへ続く)</p>				

はじめ、本年度末には、新子どもセンター・東児童館を新築整備して子育て環境の改善と有効的な施設運営を目指してまいります。

結びに、子ども・子育て支援事業計画の進捗状況についての検証と、令和6年度に向けた子ども計画の調査・策定について、委員皆様に引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞ宜しくお願いいたします。

### 3 委員自己紹介

委員並びに事務局一同自己紹介。

### 4 副委員長の選任及び挨拶

※子ども・子育て会議条例第5条に基づき、委員の互選により選出

副委員長： 豊田 央 氏・・・今年4月から上富良野小学校でお世話になっております豊田央と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

佐藤副町長、次の用務のため退席。以降、議事については、松原委員長が進行。

### 5 議題

(1) 令和4年度地域子育て支援事業の実施状況について

①令和4年度の実績について…資料1 (事務局説明)

#### 【質疑・応答 意見等】

委員：資料1の⑧一時預かり事業【一般型】ですが、各教育・保育施設で対応できない曜日・時間帯については、ファミサポで対応しているところですが、令和4年度に限ると、日曜・祝日、この地域ならではのかもしれませんが、観光地であること、農家さんが多いことから、繁忙期になると、日曜・祝日に長時間での利用がありました。一日ファミサポに預けると、単価800円で5、6千円かかってしまいます。これに関しては、私たちファミサポの方で何か手立てが出来ないか考えていますが、なかなか考え付かない状況です。利用者の負担が軽減できるような仕組みがないか、何かできることがないか感じているため、ここでお話をさせて頂きました。

一方で令和5年度になってからも、各施設での保育者の確保は難しい状況になっていると思いますが、7、8月の全部の土日の依頼を受けているところですが、一時預かり事業の人出がいらないというところで、利用が難しいという返事を受け、ファミサポを利用している状況です。利用者の負担が大きいのではないかと思いますので、何かそれに対応できる場所があればいいなと感じています。

委員：資料1の③放課後児童健全育成事業【放課後クラブ】の2クラブと記載されているところですが、知っている箇所が1箇所しかないのですが、改めて教えて頂きたいです。

町教育振興課長：放課後クラブの形ですが、開設箇所は上富良野小学校に1箇所なんですけど、その中に小学校1年生を対象にしたクラブと2年生以上を対象にしたクラブがあり、それで2クラブということとなります。学年で分けてクラブの運営をさせてもらっておりますので2クラブの意味としてはこのようになります。

(次ページへ続く)

②就学前児童の居場所調査結果について…資料2 (事務局説明)

資料2に係る質疑・応答はなし

(2) 子どもの生活実態調査について

①スケジュールについて【資料3】(事務局説明)

②調査内容について【資料4】(事務局説明)

資料3につきましては、上富良野町こども計画策定スケジュールとなっております。A上富良野町こども計画アンケートについては、就学前児童の380世帯と就学児童の小学校3年生以下の児童がいる208世帯を対象としております。

B子どもの生活実態調査につきましては、小学校5年生・中学校2年生・高校2年生・高校3年生の全児童とその保護者になります。

今回の議題につきましては、Bの子どもの生活実態調査のお話となります。

スケジュールですが、令和5年度4月にA・Bの入札・業務委託契約の締結を終わらせているところで、5月と6月に内容についての内部の打合せを行っております。6月に小学校5年生と中学校2年生の児童については、学校を通じて配布を予定しておりますので、校長会・教頭会の方でアンケートの説明をさせて頂いております。本日子ども・子育て会議を開催させて頂きまして、子どもの生活実態調査内容の協議をさせて頂きたいと思っております。

今後の予定につきましては、9月に国の方から今後の予定が何か出される予定となっておりますので、それを待っているところです。11月に第2回子ども・子育て会議を開催させて頂きまして、今回行う子どもの生活実態調査集計の速報版とこども計画アンケート調査内容の協議をさせて頂く予定です。12月にアンケートの準備をさせて頂き、1月にアンケート調査の集計をさせて頂きます。3月に第3回子ども・子育て会議を開催させて頂き、2つのアンケート調査の結果を報告させて頂く予定です。

その後、令和6年度4月以降に、こども計画の策定について、スケジュールのとおり進めていく予定です。

子どもの生活実態調査の実施につきましては、8月25日から9月8日を予定しているところです。

資料4につきましては、アンケートの案となっておりますが、4-1、4-2、4-3、4-4とありまして、4-1、4-2につきましては、小学5年生、中学2年生、高校2年生、高校3年生のお子様用のアンケートとなっております。この2つにつきましては、ほぼ内容が変わらず、高校生につきましてはアルバイトをされているお子様もいらっしゃいますので、アルバイトの費用が生活費に使われているなど、把握していきたいと考えておりますので、そこが少し変わっているところですが、基本的なところは、ほぼ同じとなっております。

資料4-3と4-4につきましては、小学5年生、中学2年生、高校2年生、高校3年生の保護者用のアンケートとなっております。お子様のアンケートよりも少し質問の数が増えておりまして、お子様のことやご家庭の中のこと、また、貧困調査の内容が主な内容となっておりますので、ご家庭の収入など立ち入った内容となっております。

子どもの生活実態調査につきましては、令和7年度から5年間の上富良野町こども  
(次ページへ続く)

内 容

計画の策定に向けて、道子ども若者支援推進法や子ども若者支援推進大綱、子どもの貧困対策の推進に関する法律、子どもの貧困対策に関する大綱と北海道の動向を踏まえまして、町の子どもの生活や貧困に関する分析を行うというものになります。

アンケートの内容につきましては、国が実施している調査を基に作っておりまして、内容と致しましては、令和3年度に実施されました子どもの生活実態調査、貧困に対する内容になりますが、令和4年度に実施した子ども若者の意識に関する調査で主に居場所に関する調査の内容を基に、平成29年度に実施しております前回の子どもの生活実態調査の内容で、今回残しておいたほうが良いものと前回の調査を比較するためにも、追加しておきたい項目を載せておりまして、お子様の調査につきましては、問題数が多いと回答も大変になってきますので、精査させて頂き、答案の方を作らせて頂きました。

配布方法につきましては、小学5年生と中学2年生とその保護者の方につきましては、お子様用と保護者ようを1セットにして、学校を通じて、配布・回収をさせて頂くところ です。

高校2年生と3年生とその保護者の方におかれましては、高校生は通っている学校が様々ですので、ご家庭の方に郵送して、郵送でお返し頂くこととなります。

本アンケートと多岐に実施するアンケートを基に、来年度はこども計画の策定を予定しているところですので、内容につきましてご協議頂き、こちらについて提案させて頂きます。

計画の内容につきましては資料3の計画名のところにありますが、上富良野町こども計画としまして、今実施している令和6年度までの、第3第二期子ども子育て支援事業計画続きであり、次の計画になる第三期子ども・子育て支援事業計画とこどもの貧困対策計画、こども若者計画、次世代育成支援行動計画を含ませた計画の方を7年度から11年度の5年間で計画の策定を予定しておりますので宜しくお願い致します。

【質疑・応答 意見等】

委員：こども計画というものがよくわからず、このアンケートをとる理由とそれがどういうふうに活用されるのかを知りたいです。

事務局：現在、子ども・子育て支援事業計画第二期を実施しておりますが、令和2年度から令和6年度までの5年間で実施しているところ です。この計画が来年度で終わってしまうのでその次の計画をたてるということで、国の方でも、その計画と、先ほど説明しましたスケジュールの3の一番上のところに書いてある、計画、全部含めたものでも良いのですが、こども計画、規定しなさいというふうになっておりまして、今回のアンケートにつきましては、その中でも、こどもの貧困対策と、あと次世代支援育成行動計画の中身を、これから計画を立てていく中身についての調査となります。子ども・子育て支援事業計画につきましては、例えばお子様やこども園のことなど、上富良野町がどうやって子育て支援を行っていくかという柱になる計画となっております。その計画の見直しをかけて、さらにより良いものにしていきたいということで、前回5年前になりますので、5年間で変わったところや、計画の中身もそうですが、保護者の方のニーズとかも変わってくるようになりますので、そのニーズ調査を秋に実施するのですがこちらも

(次のページへ続く)

皆様の意見をお伺いした中で上富良野町としてはどういうふうに変えていく必要があるのか把握しないと、計画の見直しや立て直しをすることができませんので、ご意見を頂き、今回、アンケートを実施させていただくこととなりました。

委員：アンケートが国ベースになっていると思うので、仕方ない部分もあるかと思いますが、これだけ膨大なアンケート調査を実施するのであれば、選択式ではなくて記述式など、本当に意見を貰いたいのであれば、意見を述べることができるようなスペースを作り、一つ一つに記述できる箇所を作った方がもっとリアルな声が聞けるのではないかと思います。

事務局：最後に自由記載欄がありますが、以前の調査でも自由記載欄に記入する親子も見られましたので、そちらに記入してもらうように進めているところです。アンケート自体が無記名で行いますので、本当に困っている方であれば問い合わせ先もありますので、そちらにご連絡頂きたいと思います。無記名だから書けることも沢山あると思いますので、そちらに期待し、このような形をとらせて頂きました。国規定のアンケートは自由記載欄がなかったため、自由記載欄を作らせて頂きました。

委員：資料4-1の問23について、学校と関わる場所がありますので、状況をお伝えという形でお話させて頂きます。あなたは過去1か月の間に誰かから、次のようないじめを受けたことがありますかという問いに、①から④の中で選択するという質問になっておりますが、学校の中では、昨今、いじめというのが社会問題になっているので、年間2回子どもたちに、嫌なことをされたかというアンケートをとっています。そのため、これよりもっと程度の軽いことも含めながら、子どもたちにアンケートを取り、学校としては、嫌なことをされたと書いた子どもたちについては、一人一人に聞き取りをして、どんな実態にあるのかというところを把握しています。そのようなことから考えますと、上富良野町の場合、ここに書かれてあるような、ひどいいじめに該当するのは極めて少ないのかなというふうに思います。ですので、あったとしても、2番の1～2回あるというところに印をつける子がごく少数いて、1か月の間に3回以上ある、11回以上あるなどにつける子は、ほぼいないのではないかと予想されます。このようなことを踏まえると、子どもたちへ聞き取りをして、“いじめ”のような形で聞くのがいいのか、実態的にはもう少し軽いものも含めながら子どもたちの状況を把握した方が、より実態に応じた状況を把握できるのかなというふうに思いました。学校のいじめ対応等も含めてのお話でした。

事務局：町としては、いじめの有無については学校と共有できる部分とできない部分もあると思いますが、この計画策定にあっては、いじめの有無について調査したい部分と、他の国の調査等々と比較しながら、それに合わせて文言部分を変えることを検討したいと思います。今一概にすぐ答えるということではございませんので、色々な調査を横並びにしながら、計画策定に反映できる項目として調査・アンケートをしておりますので、預からせて頂きたいと思います。

(次ページへ続く)

委員：学校で行っているいじめ調査は、実際に外部に出せるものなののでしょうか。

校長・教育振興課長：いじめの対応をすることを目的に教育局に報告をしておりますが、毎年2回、6月と11月頃に、各学校で調査を実施し、その結果を数値的な部分で取りまとめしており、これについては、いじめ問題協議会で報告し、数値上の部分では共有できると思います。

委員：アンケートはスマートフォンではなく、紙での回答になってしまうのでしょうか。

事務局：スマートフォンやタブレットを持っている児童はいると思いますが、本計画を策定するにあたり、アンケート調査を委託している業者とも調整をさせていただきましたが、アンケート調査の内容が、1から5段階でマルをつけるとか、一つの項目について何個も項目があったりするの、Web形式だとアンケートを取る場合に、どこまでつけたのが難しいということで、一度検討はしましたが、今回は紙ということで、5年後に計画を策定する時には、中身の方を早めに検討させて頂いて、Web上でもできるような中身の検討も考えていきたいと思いますので、今回は紙ということになっております。

委員：資料4-1の問15の選択7番にスクールソーシャルワーカーなどと書いてありますが、上富良野町にスクールソーシャルワーカーがいることを存じ上げていなかったため、確認です。

## 内 容

教育振興課長：スクールソーシャルワーカーはございません。

委員：アンケートは学校で配布して、学校で回答するというのでしょうか。

事務局：学校では記載する時間を取ることができず、授業に関わってしまうため、お家に持ち帰って頂き、そのために2週間の期間を設けておりますが、お子様の分と保護者の分を分けて記入して頂く予定です。配布と回収をして頂くのが学校で、ということになります。

委員：アンケートを実施するにあたり、学校に行けていない児童へはどのような対応をされる予定ですか。

事務局：現時点では名簿を作成していないのと、どのくらいの児童が学校に通われていないのか、転校や違う学校に通われている児童もいらっしゃると思いますので、ご案内についても今後考えていきたいと思っております。

委員：札幌ではコロナ禍において、学校に行けなかった期間にゲームに嵌ってしまい、それにより不登校になってしまうといった情報が、児童デイサービスから話を聞いていて、そういう実態も踏まえて、登校拒否などアンケートの内容には含まさっていないと思われましたので、発言させて頂きました。

(次のページへ続く)

事務局：コロナ禍だから学校に行けなくなったというのは、本アンケートの項目にはないのですが、例えば、ここ最近で気持ちが落ち込むことがあったという項目はあるので、今のお子様の心境の方が大事と思いましたので、コロナについては検討しておりませんでした。保護者の方につきましては、収入が下がった方もいると思いますので、保護者については触れているところです。

委員：プライバシーのことも考えると、アンケートを親と子を別にして行うのはどうでしょうか。

事務局：前回の実施したものをみると、子が回答したものを封して、見れない状態にして親の封筒に入れ、学校に提出しておりました。親と子がペアにしてセットで提出することで、親と子の回収数が全部同じになるので今回も同じ手法を取らせてもらったところです。前回のアンケートも学校で回収したことで、アンケート回収率も80%以上という高い率となっておりますので、学校にご足労かけますが、今回もアンケートの配布・回収手法の方をこの形を取らせて頂きました。今回も前回同様、プライバシーが守られることを前提にご理解を頂きたいです。

委員：最後まで読んで提出方法がわかるので、一目見てわかるように記載して頂きたい。

事務局：一目見て、アンケートの提出方法がわかるような図柄や字体を使うように検討します。

委員：高校生の回収率はどのくらいでしょうか。

事務局：前回の平成30年9月に行った実績ですが、高校生は25%ぐらいで、3割も下回る回収率となってしまいこれが実態です。

委員：小学5年生と中学2年生の子がいる場合、保護者はそれぞれ2つアンケートに答えるということですか。

事務局：おっしゃる通りです。学年ごとお子様がいらっしゃる場合は、それぞれ回答して頂くこととなります。

事務局（補足）：小中学校につきましては、校長会等で学校に協力をお願いして、学校を経由した形で配布・回収をさせて頂いておりますが、高校生については、郵送によりアンケートを実施しておりますので、回収率も低くなっているのではないかと推察されます。回収率の違いは郵送と手渡しの違いもあるかと思えます。

資料について、今説明を受けて、すぐご意見というのも難しいとおもいますので、ご意見やお気づきの点がございましたら、7月28日までに、子育て支援班に電話もしくは代表メールもございますので、ご提供頂き、改善の方法として検討していきたいと思えます。本会議と7月28日までに頂いた貴重なご意見を基に、アンケートの改善をして、正副委員長にご確認頂いて、発送という流れになります。

(次のページへ続く)

## 内 容

(3) その他

① その他

事務局：現在、新子どもセンターですが、進捗率については計画通り順調に進んでおります。3月にも本会議がございますが、2月頃には内覧できる状態になる予定ですので、オープン前に会議と別の日程で調整することを予定しております。令和6年2月末で完成予定、令和6年4月から始動となりますが、始動前に見て頂く機会を設けたいと考えております。

本アンケートですが、8月には発送する予定ですが、皆様の貴重な意見を聞いたうえで、改善できるところは改善していきます。前回も、正副委員長に最終確認をお願いしたところではございますが、今回の最終確認も正副委員長に一任する形で宜しいか皆様の確認を取りたいと考えております。(委員一同の承諾を得る)

② 次回会議の開催について

事務局：次回の会議につきましては、11月頃を予定しております。日にちが確定しましたら皆様にご連絡しますので、ご参加の方宜しくお願い致します。

閉会

内 容